

2025年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校				
教 科	科 目	単位数	標準単位数	学習期間	担当者
保健体育	体育A	2	2	半期	本校教員・スクーリング講師
教科書名		出版社	学習書		
現代高等保健体育		大修館	本校作成学習書		
指導目標					
・運動の楽しさを深く味わうことができるようにする。 ・スポーツの意義や歴史、文化的特徴などを理解する。					
レポート(添削指導)	全 2 回		定期試験	あり	年間(学期) 1 回
スクーリング	全実施時間数	20 時間	定期試験の評価割合	70 %	
	標準面接時数	10 時間	評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1	

回数	日付	スクーリング 単元・学習内容	レポート 提出期限	回数	高校通信教育講座(コンテンツ視聴) 単元・学習内容
1	5/1	スポーツの始まりと変遷 ※スポーツの始まりと発展について、国際スポーツの拡大についてを理解を深める。	5/25	1	・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ
			6/25	2	・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果
2	4/19	体づくり運動 ・ペアや4人組などで心と身体をほぐす活動		3	・バドミントン① ・バドミントン②
3	4/19	体づくり運動 ・ペアや4人組などで心と身体をほぐす活動		4	・人間にとって動くとは何か
4	5/11	バドミントン ・ラリー、ゲーム形式の活動		5	・スキー・スノーボード ・スケート
5	5/11	卓球 ・ラリー、ゲーム形式の活動		6	・ダンス(講義) ・脚のトレーニング
6	5/29	文化としてのスポーツ ※スポーツを文化としてとらえ、ルールの改正や用具などの工夫でどのように発展していったのか理解させる。		7	・剣道 ・世界の民族スポーツ・日本生まれのスポーツ
				8	・サッカー① ・サッカー②
7	5/18	ソフトバレーボール ・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス		9	・体育A確認問題
				10	・トレーニング背中
8	5/18	ソフトバレーボール ・ラリー、ゲーム形式の活動		11	・競技スポーツにおける競技の意味
9	5/31	モルック ・ルールを理解する		12	・パラリンピック
10	5/31	モルック ・個人戦、チーム戦		13	・競争
11	6/19	オリンピックとパラリンピックの意義 ※オリンピックやパラリンピックの意義や歴史について理解させる。		14	・トレーニング尻
				15	・オリンピックのバイブル
12	6/15	生涯スポーツ(インディアカ) ・ルール説明、ラリー		16	・スポーツとメディア
13	6/15	生涯スポーツ(インラインホッケー) ・パスの仕方、ゲーム		17	・トレーニング脚
14	6/28	体づくり運動 ・ペアやグループでさまざまな動きを入れた運動		18	・ioc,joc
15	6/28	体づくり運動 ・体力を高める運動		19	・トレーニング腕
16	7/12	体づくり運動 ・体ほぐしの運動、リズミカルな動きをいれた運動		20	・文化とは
17	7/17	スポーツが経済に及ぼす効果 ※スポーツがもたらす経済効果に関して理解を深め、業種についても理解させる。			
18	7/12	バスケットボール ・基本的なパスの練習			
19	7/20	バスケットボール ・簡易的なゲームをおこないルールを理解する			
20	7/20	フットサル パスの仕方、ゲーム			

《留意事項》

- ・スクーリングには教科書または学習書を必ず持参すること。※実技をおこなう際は、運動着、体育館履きを着用。
- ・実験器具、ICT機器、映像資料等を用いてより効率的に学習を進める。